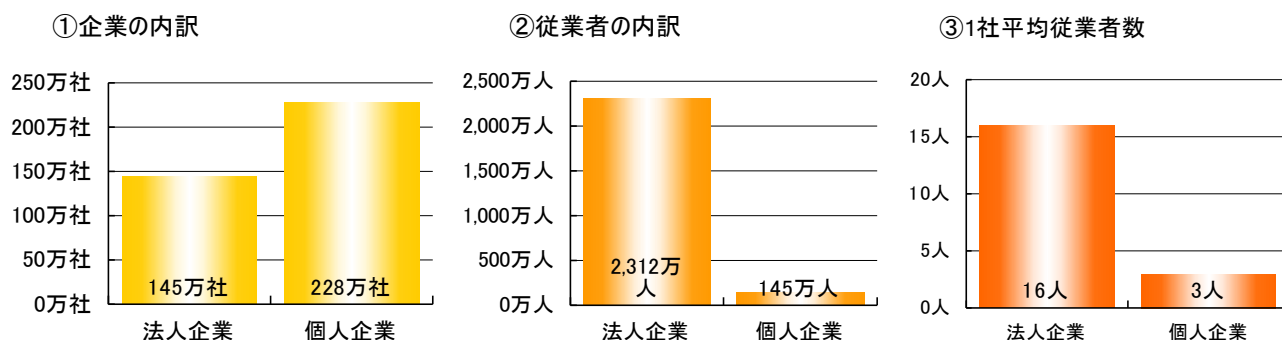


まず、会社の実態を知ろう

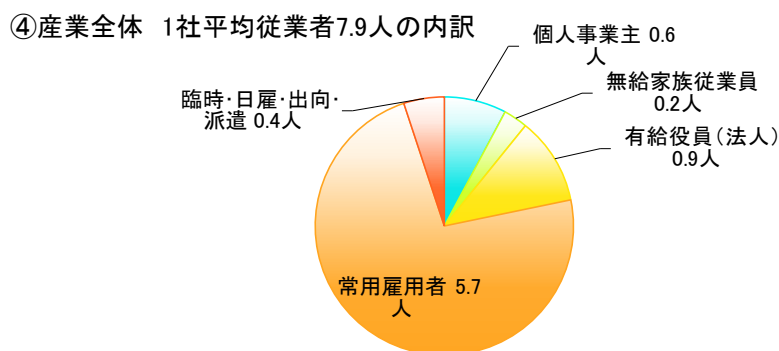
1. 産業全体と建設業の事業規模 (中小企業庁、平成21年度中小企業基本調査から)

(1) 産業全体の従業者の状況を知る

まず産業全体としては374万社の企業があり、39%が法人企業で145万社、個人企業が61%・228万社ある。従業者数を見ると、39%の法人企業に79%・2,312万人の従業者がいて、228万社ある個人企業の従業者は21%・631万人となる。つまり、法人企業では1社平均従業者は15.9人、個人企業では2.8人となる。

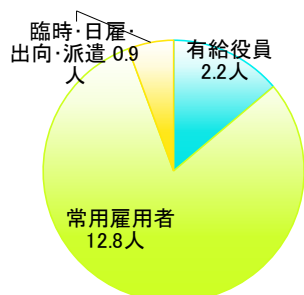


産業全体、374万社企業の1社平均の従業者は7.9人である。従業者の内訳は個人事業主が0.6人、無給家族従業員0.2人、有給役員(法人)が0.9人、常用雇用者5.7人、臨時・日雇・出向・派遣が0.4人である。



産業全体の、法人企業と個人企業の1社平均の従業者内訳を見る。

⑤ 法人企業1社平均従業者15.9人



⑥ 個人企業1社平均従業者2.8人

